

第67回デメンシアカンファレンスを開催

2020年12月16日

12月16日（火）に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ） 「第67回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の拡大を踏まえ、集合形式＋テレビ会議システムによる開催を見合わせ、Web上で開催しました。

「治療同意に難渋した一例」のタイトルで、金沢医科大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子とスライド

第 67 回 デメンシアカンファレンス 報告要旨

『治療同意に難渋した 1 例』

発表者：奥野 太寿生（金沢医科大学 高齢医学）

司会：入谷 敦（金沢医科大学 高齢医学）

【要旨】

症例は 84 歳男性。主訴は運転免許更新時の講習予備検査にて第 1 分類となり、公安委員会より診断書提出を求められたため、認知機能精査のため受診された。家族は 1 年前からもの忘れの悪化を感じているが患者は認知機能の低下を感じていない。患者・家族とも運転の継続を希望されていた。現症として高血圧症、脂質異常症、2 型糖尿病、心房細動がある。既往歴、認知症の家族歴はない。生活歴は妻・長女・孫と同居しており、飲酒・喫煙・アレルギー歴はなし、学歴は 12 年、70 歳までビル清掃業に携わっていた。バイタル・身体所見は問題なく、嗅覚低下はなし。聴力はやや低下している。運動麻痺や嚥下障害、失語、パーキンソン徴候等の神経学的所見は異常なく、採血や心電図も問題なかった。神経心理検査では MMSE：17 点、MoCa-J：11 点であり、記憶力の低下が疑われた。頭部 MRI では両側前頭葉・側頭葉・海馬の萎縮とラクナ梗塞の散在、右内頸動脈の狭窄があり、脳血流シンチグラフィーでは頭頂葉・楔前部の血流低下を認めた。アルツハイマー型認知症と診断し、非薬物的介入や薬物投与を薦めたが、患者が車の運転について固執してしまい話が進まなかった。家族の前で視空間認知の検査を行ったところ、現在の患者の認知機能では自動車運転が危ないことを家族が理解し、免許返納するよう患者を説得するとのこととなったため、抗認知症薬を開始した。

自動車運転関連で診断・治療同意に難渋する症例を経験することは多い。認知症は継続フォローが必要な疾患であり、自動車運転について上手に患者・家族に説明しながら、治療・介入ができればよいと感じた症例であった。

【質問・意見】

意見：

特に軽度認知障害でフォローしていた人を認知症と診断するときに困った。

診断書提出が求められている場合は診断し書類を提出するしかない。睡眠薬や抗認知症薬は添付文章に「危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意」と記載されており、説明が必要

質問：

この方のその後の経過は？

家族が患者を説得し、免許返納するとのことであり、診断書提出は行っていない。その後は受診日
に来院されなかったため不明。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)
第67回デメンシアカンファレンス(Web)

治療同意に難渋した一例

2020年12月16日(水) 18:30~20:00

発表者 金沢医科大学 高齢医学 奥野 太寿生
担当 金沢医科大学
対象 参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生含む)

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム (WebEX) を使用

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行の拡大を踏まえ、
当面の間、集合形式+テレビ会議システムによるデメンシアカン
ファレンスの開催を見合わせ、代わりにWeb上で開催します。

教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、
認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運
営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメール
に従って会議にご参加下さい。

上記以外で参加を希望される方は12月15日までに氏名とメール
アドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。
(ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営
事務局が確認します。

【お問い合わせ・参加申し込み先】

北陸認プロ運営事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2149 / FAX 076-234-4208

E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp / URL <http://ninpro.jp/>